

Facebook



Instagram



Movie



<https://kure.hosp.go.jp/>

独立行政法人 国立病院機構
呉医療センター
中国がんセンター

National Hospital Organisation
Kure Medical Center and Chugoku Cancer Center

GO BEYOND

National Hospital Organization
Kure Medical Center and
Chugoku Cancer Center

Join Together!

仲間と目指す
「なりたい自分」と
「その先」。

Beyond your goals!

長い歴史の中で、
急速な変化を求められている医療現場の今。
呉医療の研修だからこそ、
未来に必要とされる「なりたい自分」と
医療の「その先」を
最適な環境で目指せます。

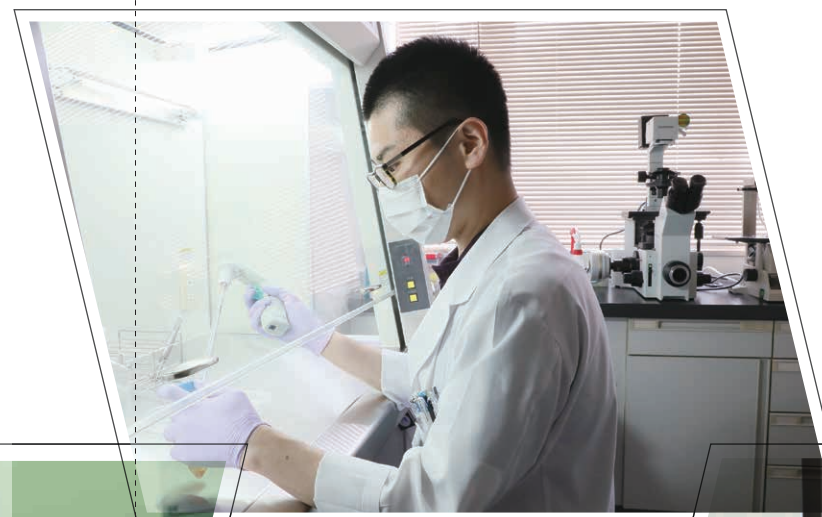
研修医と指導医が手を取り合い
合言葉は“GO BEYOND”

“越える”、“道を広げる”という意味を持つ「GO BEYOND」の精神を胸に、今の自分をさらに越える成長、そして将来への道のりを切り開きたいあなたの情熱をサポートします。理想とする医師の姿に近づく一歩が、必ず踏み出せます。



特定行為研修指定研修機関指定 がんゲノム医療連携病院指定 令和元年6月1日	病院機能評価認定病院／主たる機能：一般病院の機能種別版評価項目3rd Ver.1.1／副機能：精神科病院 認定第08311号 平成29年7月1日	病院機能評価認定病院（審査体制区分24 Ver.6.0 認定第08311-3号） DPC医療機関群 DPC-II 群病院指定 平成28年4月1日	病院機能評価認定病院（審査体制区分24 Ver.6.0 認定第08311-3号） R医療技術研修センター開設 広島DMAT指定病院となる 平成28年4月26日	地域医療支援病院となる 平成28年1月1日	地域がん診療連携拠点病院となる 平成28年9月27日	地域がん診療連携拠点病院に指定 平成28年9月1日	DPC対象病院へ参加 平成28年4月1日	病院機能評価認定病院（一般病院種別B 認定第111号） 外来管理棟竣工 地域医療研修センター設置 平成27年5月23日	国立病院医療センターに名称変更 平成27年3月17日	緩和ケア病棟運営開始 平成27年4月1日	地域周産期母子医療センターに認定 平成27年3月30日	産婦人科施設指定 平成26年6月1日	防災拠点国立病院に指定 平成26年12月3日	エイズ治療拠点病院に指定 平成26年9月25日	臨床研修指定病院（外国医師・外国歯科医師）に指定 昭和29年3月23日	高度総合診療施設として位置付け 昭和29年1月29日	母子医療センターを設置 昭和28年5月23日	臨床研究部を設置 昭和27年10月1日	附属リハビリテーション学院を開設 昭和27年4月5日	第三次救命救急センターを設置 昭和26年10月1日	難病対策関連施設に指定 昭和26年4月1日	高気圧酸素治療室を設置 昭和26年3月23日	救急医療センターを設置 昭和26年5月11日	ウィルスセンターを設置 昭和26年5月11日	スモン専用病棟（20床）を設置 昭和26年10月1日	臨床研修病院に指定 昭和26年7月30日	中国地方がんセンターを設置 昭和26年4月1日	附属高等看護学院を開設 昭和26年4月11日	呉市立広田病院を併設 昭和26年10月31日	国立呉病院として発足 昭和26年10月1日	接収解除 昭和26年1月14日	明徳元年7月1日
---	---	--	--	--------------------------	-------------------------------	------------------------------	-------------------------	---	-------------------------------	-------------------------	--------------------------------	-----------------------	---------------------------	----------------------------	--	-------------------------------	---------------------------	------------------------	-------------------------------	------------------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------------	-------------------------	----------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------	----------

ここなら、きっと
なりたい自分になれるはず。



高度な臨床レベルと バリエーション豊富な症例数

- 全診療科がそろった国内唯一の3次救急病院かつ「がんセンター」で、どの分野に進んでも専門医取得に必要な症例数の経験が可能です。
- 高度な臨床レベルでたくさんの手技を経験できる実務主体の研修により、自分の将来像やロールモデルを見つけることができます。
- 自院内ですべての診療科の研修が可能であり、他病院への異動によるストレスやローカルルールに対応する無駄な時間がなく効率的な研修ができます。

質の高い ER初期対応能力

- 年間3000件以上の救急車搬送、8000件以上のワークイン患者を受け入れ、一年を通してそのファーストタッチを担うことで臨床推論と病態把握能力が養えます。
- 診療科間の垣根が低く、全領域の専門医にいつでも指導が受けられます。小さなことでも適度な人数の専攻医に相談できる環境で、手厚い指導体制です。
- JMECCディレクターが在籍し、年2回当院でJMECC講習会を開催でき、内科救急の基本的知識と手技を習得できます。(内科専門医取得に必須)

国立病院機構の 福利厚生と充実した環境

- 国内最大の公的病院グループである国立病院機構が主催の多くの研修医向け勉強会に参加し、有名指導医による講習を受けることができます。
- 中国地方随一の、呉医療技術研修センターでシミュレーショントレーニングができ、UpToDate®やClinicalKey®による高度な文献検索も可能です。
- 十分な収入と整備された生活環境(寮完備)の中で、多すぎず少なすぎない適切な研修医の人数で、同期がお互いに切磋琢磨して成長できます。
- 都会過ぎない風光明媚な呉の街にある港の見える病院で、ゆったりした気持ちですごせます。院内にはスターバックス®があり気分転換もできます。

レベルの高いプレゼン、 ディスカッション能力

- 年4回の呉クリニカルフォーラム(通称 呉クリ)で発表の経験を積み、その後に学会発表と段階を踏んでレベルアップできます。
- 十分な指導体制のもとでプレゼン準備を行うことができ、各学会で研修医奨励賞を多数獲得しています。
- 国際学会での発表や、海外姉妹病院での臨床交流に参加することで国際的な視野が持てるようになります。

Come on together!



この経験が 「実力の差」となる。

Common diseaseから最先端の医療まで
触れる、そして実践する。
これがエキスパートへの近道です。

研修スケジュール

呉医療だからできる
自分だけのオンリーワン研修。

最大の特徴は、ER初期対応能力を高めるため、1年目早期に内科(消化器・循環器・脳神経・呼吸器)に加え麻酔科・救急科が経験できることです。これにより自信をもって当直、救急外来が担当でき、より充実したER研修が受けられます。2年目プログラムは大学病院と同等の30の臨床診療科から自由選択ができ、将来の志望科を見据えたオリジナルプログラムが作成可能です。内科のサブスペシャリティを目指す研修医はもちろん、内科系以外の領域でも専門医取得に必要な症例経験を十分積むことができます。



ファーストタッチは
なりたい自分へ近づく一歩。

今では常識となりつつあるwalk-in患者のファーストタッチ研修。呉医療では当初からその重要性を認識し、新臨床研修制度開始時より粛々と続けてきた実績があります。初期研修2年間を通じて当直だけでなく週一回平日日中のERも担当します。当直は内科系、外科系、産婦人科、小児科など計7人の上級医と一緒に、安心して対応することが出来ます。また、フィードバックにも力を入れており、皆の経験を共有するため週一回振り返りカンファレンスを行い着実に力がつくようにしています。

当直・救急外来システム

研修スケジュール例

1年目 計52週	呼吸器内科/4週	循環器内科/4週	麻酔科/4週	救急科/5週
	消化器内科/4週	脳神経内科/4週	外科/5週	産婦人科/5週
	救急科/5週	小児科/5週	精神科/5週	
2年目 計52週	自由選択 内科系 内科系 内科系 + 地域医療/4週 + 自由選択			

必修科 ▶ 内科／24週以上 ▶ 救急科／12週以上 ▶ 外科・小児科・産婦人科・精神科／各4週以上 ▶ 地域医療／4週以上

初期対応能力に必須な診療科

内科系	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	脳神経内科	腫瘍内科
	腎臓内科	内分泌糖尿病内科	血液内科	リウマチ膠原病科	
外科系	外科	整形外科	乳腺外科	形成外科	脳神経外科
	心臓血管外科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器外科
その他	病理診断科	放射線治療科	放射線診断科	緩和ケア科	小児科
	麻酔科	救急科	産科・産婦人科		精神科



Voice!

初期研修医1年目
下村 啓祐さん(広島大学卒)

研修初期にプライマリーケア能力が培える研修を経験できたので、当直や救急外来診療にも安心して取り組みました。もともと、救急科に興味がありました。自分に合ったスケジュール選択ができるので目標に近づけています。



Voice!

初期研修医1年目
岡本 祐希子さん(大阪大学卒)

上級医の指導の下、walk-inはもちろん救急車でも軽症から重症まで様々な患者へのファーストタッチが経験できるので、基礎から実践までを通して学ぶことが出来ます。幅広い症例に携われるので将来の選択肢も広がります。



この環境が できる研修医を育てる。

呉医療センターは「病院力」が違います。

福利厚生でも、あなたの研修をバックアップ。

ハード面ソフト面とも充実しています。

暮らす環境

安心して過ごす。
だから打ち込める。

日本の道100選に選ばれた「美術館通り」に面した閑静な場所に位置しており、呉の中心街にも徒歩圏内と便利な立地です。寮は病院まで徒歩1分と至近で、緊急の対応が必要な時は、たとえ夜間であっても安全かつ素早く現場に向かうことができます。また、院内には24時間営業のコンビニだけでなく、スターバックス®もあり、休憩にもピッタリです。病院下のバス停からは広島市内直通バスが一日60往復以上あるので、気軽にお出かけもできます。



学ぶ環境

充実した設備とサポートで
さらなる高みへ。

市中病院でありながら、高度なシミュレーションセンターや、動物実験も可能な臨床研究部も併設しサーチマインドを育むことができます。また、国立病院機構のスケールメリットを生かした高度な文献検索で、日常の疑問解決から論文作成まで困ることはありません。呉クリでプレゼンテーション能力を習得し、たくさんの国内外の学会発表を経験します。その際の参加費や交通費の援助、英語論文校正や投稿費にもサポートがあり、安心して学術活動に打ち込めます。



Voice!

初期研修医2年目
藤井 友優さん(広島大学卒)

病院まですぐのところと寮が完備されており、手術や心臓カテーテルといった緊急事態にも対応することができます。このような緊急な対応を逃すことなく着実に経験が詰める環境も魅力の一つだと思います。



Voice!

初期研修医2年目
斎藤 美聖さん(広島大学卒)

呉出身ということもあり、土地勘があるので周辺環境の良さは知っていました。町の中心にも近いので、休日には気分転換で気軽に足を延ばすこともできます。緑も多く、落ち着いた環境の中でリラックスして過ごしています。



Voice!

初期研修医1年目
中山 耕平さん(山梨大学卒)

呉クリニカルフォーラムなど定期的な発表の機会が設けてあり、その度、先輩や指導医の先生方からアドバイスがいただけるので力がつきます。また学会参加費や交通費などの援助もあり、安心して勉学に励めます。



Voice!

初期研修医2年目
黒田 悠日さん(産業医科大学卒)

国立病院機構の文献検索システムが使用でき、簡単に文献が入手可能なので、上級医の先生方も利用されています。図書室は文献を通じての学習や普段お会いできない先生と考えの共有ができる場として重宝しています。

初期研修医の一日

消化器内科研修の場合

8:00

回診

午前の検査が始まる前に、気になる担当患者を診察します。



9:00

上部消化管内視鏡検査

上級委に指導してもらいながら検査を施行します。



12:30

救急外来当番

今日は午後から週一回のER当番です。一年目とペアでウォークイン患者をファーストタッチします。



14:00

ERファーストタッチ

腹痛、発熱、黄疸の患者が来院しました。ファーストタッチで診察し、急性胆管炎と診断しました。



15:00

緊急ERCP

そのまま、助手として治療に参加します。



17:15

終了

担当患者を一通り診察し状態を確認して帰宅です。

初期研修医2年目
加藤 尚宏さん(山口大学卒)



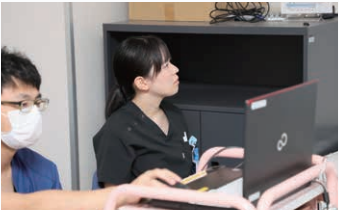
検査や手技がたくさん経験できるので呉医療を選びました。将来は消化器内科を専攻したいので、手技の基本から世界的に活躍されてる指導医の先生より直接指導を受けられることも魅力です。ERで内科救急全般が診れることに加えて、専門性の高い血液、神経、膠原病内科も含めたすべての内科診療科があるのも専門医取得を考えると大きなメリットになります。

救急科研修の場合

8:00

ICUカンファレンス

ICU入院患者の治療方針を確認します。担当患者のプレゼンも重要な仕事です。



9:00

病棟業務

救急車が来ていない時は、内服、点滴や検査オーダーなど病棟患者の管理をします。



10:00

救急車対応

早速1台目の救急車です。指導医の見守り中、ファーストタッチは研修医が施行します。



13:00

担当入院患者の診察

救急車対応の合間に入院患者を診察。刻々と状態が変化するため近い距離で指導医が対応します。



14:30

救急車対応

ファーストタッチから必要な検査や処置まで行います。指導医と一緒になので安心です。



17:15

終了

担当患者の状態を確認して帰宅です。

初期研修医2年目
西田 優衣さん(広島大学卒)

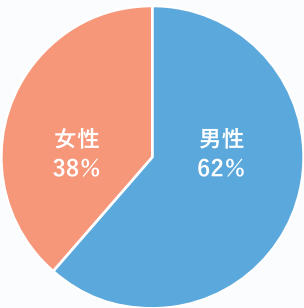


一次から三次救急、そしてドクターヘリと、軽症から重症まで様々な救急疾患を経験できることが魅力です。たくさんの救急患者が来院するので日々忙しいですが、自分が成長していることを実感できて楽しいです。救急の場でありながら、いつも冷静で落ち着いているやさしい指導医の先生の存在も心強いです。

DATA

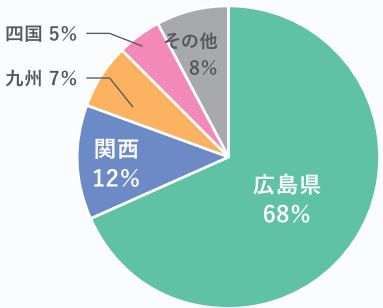
男女比

H24～R3年度
計130名から集計



出身地

H24～R3年度
計130名から集計



Voice!

外科専攻医1年目
山口 真治さん
(信州大学卒)

呉医療での初期研修を経て、現在、憧れていた外科の専攻医として従事しています。初期研修医1年目から第一線でERや当直などを経験することで、2年目にはどんな症例に対しても自分なりに考え、落ち着いて行動できるようになりました。先生方の親身な指導も成長の糧となっています。

出身大学

出身大学	人数	島根大学	5	大阪医科大学	2	福岡大学	1	鹿児島大学	1	順天堂大学	1
広島大学	55	山口大学	5	関西医科大学	1	久留米大学	1	香川大学	1	山梨大学	1
愛媛大学	13	岡山大学	4	近畿大学	1	長崎大学	1	北海道大学	1	和歌山医科大学	1
大阪大学	7	熊本大学	2	金沢大学	1	佐賀大学	1	信州大学	1	川崎医科大学	1
産業医科大学	6	徳島大学	2	兵庫医科大学	1	大分大学	1	東北大学	1		
鳥取大学	6	京都府立医科大学	2	九州大学	1	宮崎大学	1	日本医科大学	1		

(H24～R3年度 計130名から集計)

初期研修後の後期研修先

県内・県外	地域・施設	人数
広島県内	呉医療センター	24
	その他	38
広島県外	九州	8
	関西	7
	中国(広島意外)	6
	関東	5
	四国	2
	その他	2

(H24～R1年度 計92名から集計)

初期研修後の専門分野

系統	科	人数
内科系	消化器内科	17
	神経内科	7
	腎臓内科	6
	呼吸器内科	4
	循環器内科	4
	血液内科	2
	膠原病内科	2
	糖尿病・内分泌内科	2
外科系	消化器外科	4
	脳神経外科	3
	呼吸器外科	2
	整形外科	2
	心臓血管外科	1
	乳腺外科	1
	泌尿器科	3
	皮膚科	2
	眼科	2
	耳鼻咽喉科	1
その他	小児科	11
	産婦人科	4
	精神科	5
	麻酔科	2
	救急部	1
	病理	3
	産業医	1

(H24～R1年度 計92名から集計)

INFORMATION

独立行政法人国立病院機構
呉医療センター・
中国がんセンター

住所〒737-0023
広島県呉市青山町3番1号
TEL 0823-22-3111(代)
FAX 0823-21-0478
院長 下瀬 省二(広島大学卒)



■ 病床数:700床 [一般650床(救命救急センター30・NICU6/緩和ケア19)・精神50床] ■ 診療科数:39

初期研修医見学の
お申込みはこちら



WEB質問会の
お申込みはこちら



Google Mapsで
アクセス確認

